

1. 件名：「大間原子力発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（110）」

2. 日時：令和3年10月7日（木）13時30分～15時20分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官、佐藤主任安全審査官、中村主任安全審査官、永井主任安全審査官、大井安全審査専門職、松末技術参与

電源開発株式会社※ 原子力技術部 部長 他8名

※テレビ会議システムによる出席

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・大間原子力発電所 審査会合における指摘事項について（地震・津波関係）
- ・大間原子力発電所 基準津波策定について（コメント回答）
- ・大間原子力発電所 基準津波策定について（コメント回答）（補足説明資料）

| 時間      | 自動文字起こし結果  |
|---------|--|
| 0:00:00 | すみません時間になりましたのでヒアリングを始めたいと思いますが、今回ですね津浪評価全体についてですね資料を準備していただいたところなんですが、我々としてもですねこれちょっと今日これをすべてば流聞かというのですね、時間的に無理なので、 |
| 0:00:17 | 本日についてはできればの前のコメント回答を中心にお話をして説明をしていただいた上でですね。  |
| 0:00:24 | もう1回ヒアリングをセットしていただきたいと思ってるんですが、まずその点よろしいですか。   |
| 0:00:32 | 電源開発タカオカですと、確かに恐慌説明する内容たくさんあるなんていうのは、認識してございますので、  |
| 0:00:41 | 2回目ヒアリングを行うのは時理解いたします。ちょっと説明者全体説明資料として準備してたので、ちょっと今は   |
| 0:00:52 | 岩田さんのご主人あったように、ちょっと頭整理してもらって、誤信合うように対応をさせていただきます。  |
| 0:00:59 | はい、すみませんがよろしくお願ひいたします。次回のヒアリングの日程についてはですね、本日終了後にでも結構ですんで申し込みをいただければと思いますのでよろしくお願ひします。ではあの説明のほうからお願ひします。              |
| 0:01:15 | はい、電源開発原子力技術部の高岡でございます。本日は、基準津波の策定に関わるヒアリングになります。本年7月30日の審査会合でのコメント及び2018年、2020年の審査会合における                            |
| 0:01:32 | 波源の組み合わせ等に係るコメントに回答して基準津波策定まで、資料としては、ご用意させていただいております。  |
| 0:01:42 | 内容盛りだくさんですので、基本的には本年7月30日の審査会合のコメント、御説明という御趣旨かと思っておりますので、その方向で対応させていただきますのでよろしくお願ひします。                               |
| 0:01:59 | 最終的にはですね、我々ソフトも  |
| 0:02:02 | 審査会合で基準津波策定まで、   |
| 0:02:06 | 審議していただきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。   |
| 0:02:12 | それでヒアリング資料の御説明先立ち資料の確認をさせていただきます。メインの津波資料は右上に強い1155といったものと156の補足資料の2冊とコメント資料になります。                                   |
| 0:02:29 | コメント資料につきましては、前回9月27日のヒアリング以降、審査会合ございませんので、コメント内容の追加変更はございません。   |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:02:41 | そういう意味で 22 分の 21 ページから 22 ページですが、7 月の審査会合での津波のコメント部分、本日は御説明の趣旨を赤字で記載させていただいております。            |
| 0:02:56 | それから初期の段階系、  |
| 0:03:00 | 変更申請後、職員の段階で規制庁さんから提示いただいた主要な論点ですね。  |
| 0:03:06 | こちらにつきましてコメントリストに盛り込んでございまして、21 本の 1 ページから 3 ページに記載しております。                                   |
| 0:03:14 | 地震津波関係火山も含めまして 10 項目ございます。そのうちで本日の津波につきましては、22 分の 3 ページ。                                     |
| 0:03:25 | ですね、SRの中盤という形で御用意してございます。  |
| 0:03:31 | こちらについては、これいただければと思います。  |
| 0:03:35 | それでは本日の津浪資料のコメント回答について、担当の神田課長から説明させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。                                 |
| 0:03:51 | はい。  |
| 0:03:52 | 電源開発カンダでございます。よろしくお願いいたします。当資料ですね今タカオカが申し上げました通り分厚い本編資料と補足説明資料二つ準備させていただきます。                 |
| 0:04:05 | 本日は、本編資料のみということになるかと思えます。  |
| 0:04:10 | まず本編資料のローマ数字の 2 ページ目をお願いいたします。   |
| 0:04:18 | はい。指摘項目のですね、一覧でありますけれども、S-51E-のコメントになります。これ前回 7 月 30 日の会合でいただきましたコメントでありまして、日本海等縁部に関わりまして、   |
| 0:04:34 | 傾斜方向傾斜パターンのうちですね、パターン 6 の水が保守側にあると。  |
| 0:04:39 | いうところについて、   |
| 0:04:43 | 説明補強せよというコメントでありました。   |
| 0:04:46 | 4 ページ、ローマ数字の 4 ページをお願いいたします。   |
| 0:04:51 | S-5-52 からですね三陸沖から根室沖に関わるコメントでありました。  |
| 0:04:58 | まずこの 52 は、前回ですね十勝沖から年々十勝沖根室沖から択捉島沖   |
| 0:05:08 | を波源域とします基準波源モデル 1-2 というものを設定してございましたけれども、これについては影響等をですね検討した上で位置付けを整理をし直すことというコメントをいただいております。 |
| 0:05:22 | その後の 53 であります。   |
| 0:05:25 | 津軽海峡開口部付近沿岸におけます想定津波群の比較数について、   |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:05:32 | 拡大図を準備すること等ですね、修正をのコメントをいただいております。その上で、   |
| 0:05:40 | 基準波源モデル 3 から 6 の設定の妥当性につきまして、宮推等の分析を行うことというそういうコメントをいただいております。  |
| 0:05:51 | その後の 54 でございますけれども、   |
| 0:05:54 | これは地震による津波全体を見た場合ですね、上昇側では日本海溝Mが上回るという一方ですね、加古川内閣 2020 の波源モデルが  |
| 0:06:08 | この結果については要因を分析し説明せよというコメントでありました。   |
| 0:06:13 | S-55 であります。   |
| 0:06:16 | 内閣府 2020 の滑り量等のモデル化の手法に関する考え方の取り扱い。   |
| 0:06:22 | これを   |
| 0:06:24 | シンプルに整理せよというコメントをいただいております。   |
| 0:06:27 | まだ 1 回、エアロックと比較するその位置付けについても説明するということがあります。   |
| 0:06:32 | S-5-56 ありますけれども、細かい活断層をにつきまして、前回ですね、隆起再現断層をに伴う津波のですね影響評価というものを outs させていただきましたけれども、これにつきましては、         |
| 0:06:48 | 内陸地殻内地震の審議結果を踏まえた上で評価すると。   |
| 0:06:52 | いう記載に変え得るべきだというコメントをいただきましたので   |
| 0:06:57 | というものであります。   |
| 0:06:59 | 6 ページをご覧いただきたいと思いますが、S-5-36 これまあ波源の組み合わせに関するものであります。  |
| 0:07:08 | これいただきますので、平成 30 年 6 月ということで、前回ではありませんので、本日はこの説明は割愛させていただきますと思います。                                    |
| 0:07:16 | S-42 についても、これが 2020 年 6 月の会合でいただきました防波堤の有無に関わる検討についてであります、これにつきましても、本日は説明対象から外させていただきます次回にまわしたいと思います。 |
| 0:07:34 | 7 ページをお願いいたします。   |
| 0:07:37 | 本旨の説明降水ということで詳細は説明は割愛いたしますけれども、検討の最初から終わりですね、の項目をずらっと並べまして結論まで記載するというものを 1 枚準備しております。                 |
| 0:07:51 | 8 ページをお願いいたします。   |
| 0:07:54 | コメント回答の概要でございます。今申し上げましたコメント回答についてですね、の概要を記載しておりますけれども、詳細については後程ご説明をさせていただきます。                        |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:08:07 | ふうと考えております。  |
| 0:08:09 | まず 2-2-31 に飛んで火災   |
| 0:08:27 | はい。日本回答縁部に対するコメントが一つ残ってございました。弊社方向傾斜角、に関わるコメントでありまして、右下にですね、米印で記載をしているところに、                          |
| 0:08:42 | パターン 6 のケースは、津波水位評価上敷地に与える影響が保守側の設定になるというような表現で前回の審査会合でも御説明を差し上げました。これについて、情報を充実させるとべくですね。           |
| 0:08:58 | 追加で資料を準備をいたしておりますのでそれについて説明をいたします。   |
| 0:09:03 | 少しあります 2-2-81 ページをお願いいたします。  |
| 0:09:16 | はい。今申し上げました通り、この傾斜方向傾斜パターンですね、についてサイトに近い東寄りの東傾斜 30° パターン 6 というものが敷地に与える影響が保守的であるということを説明するために、       |
| 0:09:32 | 追加計算を含めまして、再度検討をしております。  |
| 0:09:36 | 検討は二つに分けておりまして、中段と下段に  |
| 0:09:42 | ずっと表がございませけれども、左側の図表は、傾斜角 30° のパターンについてのまとめになりまして、右側傾斜角 60° のパターンであります。                              |
| 0:09:54 | 追加したケースにつきましてまず傾斜角 30° のパターンでありますけれども、   |
| 0:10:00 | パターンの番号を右肩 2' をつけておりますこれが追加型であります。   |
| 0:10:05 | このケースですと 6 ダスト 3'、これを追加したということにしております。   |
| 0:10:10 | この 6' 栈橋の設定の考え方でありませけれども、  |
| 0:10:14 | この断層の方についてを、想定波源域の大方把持というふうに設定してございます。   |
| 0:10:22 | 男性経営者がかくかく 60 とパターンでございませけれども、追加したケースは 4' と 1' と 8 出すところ です。   |
| 0:10:32 | この四つありますで同様に 4' と V'、これの設定の考え方は、この断層下端を想定波源域の方が赤字というふうにしてございまして、打ち出したチラシにつきましては、4' を出すのを断層上端の位置に合わせ、 |
| 0:10:51 | 見ると 4 設定をしております。   |
| 0:10:54 | その結果を表にまとめておりまして、今日の中に緑字で記載しておりますのが追加型であります。   |
| 0:11:01 | この中で最大水位上昇量が一番になるものということで濃い青でハッチしておりますけれども、  |
| 0:11:09 | 追加パターンを加えましても、最大水位上昇ケースはパターン 6 であるということは確認をしたということであります。   |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:11:17 | 2-2-82 ページをお願いいたします。  |
| 0:11:21 | 今申し上げました結果について、グラフで傾向ですね、水位の傾向を示してございます。  |
| 0:11:28 | 四つグラフ 5 を準備してございますけれども、左の二つが傾斜角 30° のパターンでありまして、それぞれ東傾斜と西傾斜でグラフを分けております。  |
| 0:11:39 | 右側の二つは同じく傾斜角 60° のケースということでございます。   |
| 0:11:45 | ここからいえることとしてキャプションの中に入れて三つほど準備してございますけれども、  |
| 0:11:51 | まず、最大水位上昇量の傾向でございますけれども、  |
| 0:11:54 | すべての計算についてサイトに近い東寄りのパターン、このケースで最大水位上昇量が出ているということが確認ができます。   |
| 0:12:04 | また、傾斜角 30° と傾斜角 60° では傾斜角 30° の最大水位上昇量が大きいと。  |
| 0:12:10 | ということも確認ができます。  |
| 0:12:13 | 三つ目のレ点でありますけれども、最大水位上昇量は、波源ガス基準に近づく東に移動するほど大きくなる傾向があります。  |
| 0:12:21 | 想定波源域で断層型を最も東に移動させましたパターン 6' やパターン 5' を含む想定波源域内に入る波源に比べまして、想定波源域を断層下端が東側に皆さん方 6。                                |
| 0:12:37 | この最大水位上昇量が大きくなるということも今日の傾向から整合的であるというふうに考えてございます。   |
| 0:12:46 | はい、えっとSのものを 51 に対するコメント回答は以上であります。  |
| 0:12:51 | 1 枚めくっていただきまして、2-3-1-2 ページをお願いいたします。  |
| 0:13:00 | はい。ここから三陸沖から根室沖のプレート間地震に伴う津波に関するコメント回答について御説明をいたします。  |
| 0:13:08 | 本章における変更点ということで記載をしておりますけれども、Es-52 への回答ということで、前回せて 994 回の会合におきましては、広域の津波特性を考慮した特性化モデルである超滑りが二つのモデルと想定波源といたしまして、 |
| 0:13:27 | 岩手県沖北部から十勝沖根室沖  |
| 0:13:30 | それと、十勝沖根室からしご担当択捉島沖、この二つを選んでおりましたと。   |
| 0:13:35 | ということですが、詳細は後程申し上げますけれども、これら二つの波源の影響を勘案かんがみまして、   |
| 0:13:47 | このモデル超滑りが二つのモデルを対象とした基準津波の想定波源域は、   |
| 0:13:54 | 岩手県沖北部から十勝沖根室というふうにししましたという変更点を記載しております。  |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:14:01 | ただ念のためですね、パラメータスタディを実施しまして影響がないということもネオスで確認をしております。詳細は後程説明いたします。2-3-1-6 ページをお願いいたします。                    |
| 0:14:18 | はい。これ  |
| 0:14:20 | 前回の審査会合でもお示しをしました全体の検討フローでありますけども、変更点といたしましては、一番左側のフローになりますし、一番右側のフローの中段下側に基準波源モデル位置というふうに記載をしておりますけれども、 |
| 0:14:37 | 前回はこの基準波源モデル位置が切り上げる1-1でした。  |
| 0:14:43 | で、十勝から択捉の波源がきん波源モデル1-2というふうにしてございましたけれども、※1に記載をしております通り、影響評価を加えた上で、                                      |
| 0:14:56 | 以上の波源モデル位置のみにしたということを記載しております。   |
| 0:15:00 | 2-3-1-29 ページをお願いをいたします。  |
| 0:15:06 | はい。  |
| 0:15:07 | 想定波源域の設定について、前回の会合からの変更点について、記載をさせていただきますけれども、これを  |
| 0:15:18 | 検討の流れとしてですね、図等で示したものが2-3-1-30 ページになります。  |
| 0:15:27 | はい。左側が994 回前回の会合における検討の流れ及び結果、右側が本県ということでありまして、まず一番上の四角で囲っている部分ですね、検討対象とする連動領域については、                     |
| 0:15:44 | 変わらず、二つの領域ということにさせていただきます。   |
| 0:15:49 | 中段の四角ですけども、  |
| 0:15:52 | 検討対象特性化モデルについても前回と変わらず、このようなモデルの考え、  |
| 0:15:58 | 渡しております。   |
| 0:15:59 | その下を変更しております、これら二つのモデルにおけます敷地への影響を再度確認をいたしましたところの影響については、岩手県沖北部から十勝沖根室沖の                                 |
| 0:16:14 | 広域の津波特性を考慮した特性化モデルの影響が大きいであろうということを確認いたしましたので、   |
| 0:16:21 | 検討対象波源域の選定といたしましては、  |
| 0:16:24 | 岩手県沖北部から十勝沖根室の一つとするというふうに変更したということでございます。  |
| 0:16:31 | 井上さんの一応35 ページをお願いをいたします。   |
| 0:16:38 | 今申し上げました影響評価でありますけれども、影響評価についての考え方、PARのペーパーでありまして、   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:16:47 | まず一つ目のキャプション一つキャプションの一つ目ではですね。   |
| 0:16:53 | 取水口スクリーン室前面ですね評価そういうちゅう数値であります取水口スクリーン室前面の水位で比較をした場合、下に四つグラフがありますけれども、右、左二つが岩手県北部から十勝根室右の二つが十勝沖根室からご担当軽度の不等という並びになってますが、 |
| 0:17:12 | この黒で引き出した部分も数字だけを見ますと、   |
| 0:17:16 | 上昇側については十勝沖根室からあそこ担当計とフロートの数字が大きいということで、これをもって、  |
| 0:17:24 | オカ長期から択捉島沖を採用するというふうに展開してございました。ただですね、敷地前面海域全体を見た場合の最大水位変動量が最も水位変動が大きいところというのは、この  |
| 0:17:38 | コンター図で言いますと右下辺りへ広告結構あたり入れてますので、この辺りの数字を比較をしますと、岩手県沖北部から十勝沖根室の推移というものが水位変動が大きいと。  |
| 0:17:51 | ということが確認されましたので、想定波源域は岩手県沖北部から十勝沖根室とするというふうに変更したいというふうに考えてございます。   |
| 0:18:01 | なお、当庫の段階でですね、活用来根室沖から択捉島沖の波源を完全に町営と消去してしまうというところでは影響評価を完全に確認できたと。  |
| 0:18:16 | ということがづらい言いがたいということ踏まえまして、後程申し上げますけれども、  |
| 0:18:22 | この特性化モデルによる概略パラメータスタディと今的に沖北部から十勝根室のを波源といたしました基準波源モデル①の概略パラメータさらに深くするというのを後段で実施してございます。                                  |
| 0:18:40 | 結果、2-3-1-36 ページに示しますように、超滑り域が二つのモデルについての想定波源域は記載の岩手県沖北部から十勝沖根室沖からするというふうに変更してございますので、この変更に伴いまして、                         |
| 0:18:57 | この三陸沖から根室沖のプレート間地震のですね、評価の流れ、或いは最終評価、そういうところに変更はございませんので、  |
| 0:19:08 | 後段のですね、内容についての大きな変更はないと。   |
| 0:19:12 | ということでございます。   |
| 0:19:14 | 2-3-1-136 ページをお願いいたします。  |
| 0:19:21 | はい、ここからがですね三陸沖から根室沖のプレート化に伴う津波評価の妥当性確認ということで補足も含めて、この章の一番後ろに準備をしたということでございます。内容としましては、                                   |
| 0:19:38 | 内閣府 2020 モデル等との比較による基準波源モデルの妥当性確認  |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



|         |   |
|---------|---|
| 0:19:44 | 補足の 1 から 6 というものを準備してございますが、補足のうち、補足の御検討対象波源域の選定、補足の 6 う想定波源想定津波群の作成を、これについては今回初めて準備をさせていただきました。              |
| 0:20:00 | 2-3-1-137 ページをお願いいたします。   |
| 0:20:07 | はい。津軽海峡開口部付近におけます剥ぎ開口部付近の沿岸におけます基準波源モデル 1 から 6 の想定津波群とイベント堆積物の分布及び内閣府 2020、日本海溝を三陸開か大きいモデル。                   |
| 0:20:23 | も想定波源域を比較した結果であります。   |
| 0:20:26 | 中段右側のグラフについては前回の会合でもお示しをしておりました。この中でですね、等がから敷地Eの辺りのですね、強く拡大してということで御指示いただきますので拡大をして準備させていただきました。              |
| 0:20:43 | さらにイベント堆積物といたしまして、産総研の津波データベースのデータを記載してございませんでしたので、データベースの内容確認をいたしまして、参画で示してございますけれども、だのさはたり、                 |
| 0:20:58 | それと向かわ目の少し上でステコミ三沢になりますけれども、この 2 点を追加してございます。   |
| 0:21:04 | はい。このグラフ、この表からですね、グラフからですね、役所の 0.2 にありますように基準波源モデル 1 から 6 の想定津波群につきましては、イベント堆積物の分布標高を概ね上回ることを確認してございます。       |
| 0:21:19 | また、基準波源モデル 1 から 6 については、超滑り域で盛大いたします青森県北部太平洋沿岸ではイベント堆積物が分布する沿岸に正対する会議で水位が高くなっております。                           |
| 0:21:32 | また、基準波源モデル 1 から 6 の想定津波群はイベント堆積物は周りに設定された内閣 2020 モデルの計算津波水位を概ね上回っているということが確認できます。                             |
| 0:21:46 | 内閣府 2020 モデルについてですね、基準波源モデル 1 から 6 とは特徴が異なっていて水位が高くなる場所というところについてコメントいただいております。具体的には中段右側のグラフの中に記載してございます。と破線、 |
| 0:22:03 | 全土の破線で記載しております地点  |
| 0:22:06 | 信頼から向かう岩屋副大間等が容器易国間付近と、   |
| 0:22:11 | ということでこの 3 地点について、後程ですね、その原因について検討しております。   |
| 0:22:19 | また大間崎を回り込んだ大間付近の推移についてでございますけれども、概ね同程度であるというふうには見ておりますけれども、相対的には内閣府 2015 年のが高いというところについても確認をしてございます。          |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:22:34 | 2-3-1-3、138 ページをお願いいたします。  |
| 0:22:39 | 基準波源モデル 1 から 6 棟内閣府 2020 モデルの比較分析  |
| 0:22:44 | いう事で基本方針を検討の基本方針でございます基準波源モデル 3 から 6 のたとう設定の妥当性を確認するために、以下の分析を行っております。                   |
| 0:22:54 | まず、内閣府 2020 モデルは、津波堆積物について堆積年代を区別することなく、   |
| 0:23:01 | 再現する逆解析により設定されたものであります。  |
| 0:23:05 | この結果津軽海峡海溝部東方海域のプレート境界面深部に連携の滑り域が配置されているという特徴を有しております。                                   |
| 0:23:16 | この特徴念頭にいたしまして、   |
| 0:23:18 | 津軽海峡開口部付近におけます内閣府モデルの津波の特性を把握するために、津波の周期特性について、1 から 6 との比較分析を行っております。                    |
| 0:23:29 | その上で、先ほど申し上げました推移の傾向が異なる 3 地点というふうにも申し上げましたけれども、これらの規定についての津浪共同の特性を分析をするということも実施してございます。 |
| 0:23:45 | 130 や失礼しました。2-3-1-139 ページをお願いいたします。  |
| 0:23:52 | まずですね。はげの比較のうち、滑り分布と地盤変動量についての比較であります。   |
| 0:24:00 | 滑り分布につきましては、基準波源モデルで 1 から 6 / も当然でありますけれども、  |
| 0:24:06 | つプレート境界の比較的浅い範囲に滑り距離調整超滑り域が配置されております。  |
| 0:24:13 | 一方内閣府モデルにつきましてはご存知の通り、   |
| 0:24:17 | はさ範囲に加えまして、津軽海峡開口部東邦会のプレート境界深部に滑り域が配置されてございます。   |
| 0:24:26 | 地盤変動量分布につきましても、今申し上げました滑り分布と整合的な形状を示していると。   |
| 0:24:33 | いうことでございますが、内閣府モデルにつきましては、   |
| 0:24:37 | これに伴ってですね、   |
| 0:24:40 | 当津軽海峡開口部東部の大きな上昇を側の変動をプラスですねその西側に津軽海峡海溝西側から津軽海峡海溝部にかけて加古川の変動が生じているということも確認できます。          |
| 0:24:57 | 2-3-1 の 140 ページをお願いいたします。  |
| 0:25:00 | 波源域の地盤変動量を比較をいたしました。   |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:25:03 | 各波源モデルは設定しました津軽海峡海溝部と各波源モデルの上昇側の地盤変動量ピークの位置を通る直線上  |
| 0:25:14 | 下にグラフが三つありました図が三つありますけれども、この図中の点線ですね、この線測線上の変動地盤変動量を比較をさせていただきます。  |
| 0:25:26 | その結果、基準津波 1 から 6 はですね内閣府 2020 モデルに比べて上昇側のピークが大きい。  |
| 0:25:35 | 一方ですね、ピーク発生は市場は内閣府 2020 モデルが   |
| 0:25:40 | 基準波源モデル 1 から 6 に比べて津軽海峡海溝海に近いと。  |
| 0:25:45 | そういうところが確認できます。  |
| 0:25:48 | なお、この形状からですね、内閣府 2020 モデルは基準波源モデル 1 から 6 に比べまして、上昇側の変動範囲幅が広いため、  |
| 0:25:57 | 波長が長い津波が発生しやすいということが確認できます。  |
| 0:26:02 | このページの左下に記載しております通り、これよりもちょっとこれからの検討です、基準波源モデル 1 から 6 の代表として基準波源モデルさんと 6 というふうに記載をしております。その理由としましては、           |
| 0:26:18 | 基準波源モデルさんはですね、テクトニクス的背景、地震学的見地に基づくモデルでありまして、最終的に水位下降が最も大きくなるケースであるということ、以前波源モデル 6 につきましては、大間の立地特性を考慮したモデルであり、  |
| 0:26:33 | 推移上昇量が最も大きくなるケースであるということから、3 登録を   |
| 0:26:39 | 代表を使って表記をするということにいたさせていただきます。  |
| 0:26:44 | 2-3-1 の 141 ページをお願いいたします。  |
| 0:26:49 | 津軽海峡開口部うのですねパワースペクトルを比較させていただきます基準波源モデル 1 から 6 のパワースペクトルに対して内閣 2020 モデルのパワースペクトルを黒で。                           |
| 0:27:02 | 重ね合わせた図となっております。   |
| 0:27:04 | 内閣府 2020 モデルは、基準波源モデル 1 から 6 に比べまして、長周期に想定いたし層相当いたします周期 20 分程度以上のパワースペクトルが大きいということが確認ができます。                    |
| 0:27:17 | 3-1 の 142 ページをお願いいたします。  |
| 0:27:20 | はげ期から津軽海峡海溝部までのその部署と比較をいたしました。   |
| 0:27:26 | 基準波源モデル 1 から 6 また用途山ろくお礼状しますわは津軽海峡開口部から遠い位置で、大きい水位変動が発生してございます。一方、内閣府 2020 モデルは津軽海峡海溝部に近い位置で大きな水位変動が発生してございます。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:27:43 | 刻みモデル 1 から 6 ではですね、津軽海峡までの伝播距離が長いので、伝播の過程で、広域の津波が広がりながら疲れ回答を伝播することが確認できます。                                   |
| 0:27:55 | 一方、内閣府モデルにつきましては、津軽海峡までの伝播距離が短いため、津波が逸散せずに 1Gal 回答伝播するという  |
| 0:28:06 | 委託が確認できるというふうに考えてございます。井野さんのいつ 143 ページをお願いをいたします。  |
| 0:28:14 | 今度は津軽海峡海溝部へのスナップショット比較をいたしました。   |
| 0:28:19 | それが系と基準波源モデル 1 から 6 の津波につきましては相対的に短波長の波が卓越すると、一方内閣府 2020 モデルの津波は相対的に長波長の波が卓越するというところが確認できます。                 |
| 0:28:36 | この町が町に、この波につきましては、津軽海峡開口部の東方海域のプレート会でプレート境界浅部に配置されました滑り域で発生した津波による影響が大きいというふうに考えてございます。                      |
| 0:28:50 | また何か工夫も出るのですね、青森県の南部から岩手県沿岸に伝播してくる津波の特徴といたしまして、  |
| 0:29:00 | 比較的短周期であるというところを確認してございまして、この津波が岩手県沖のプレート境界浅部に配置された滑り域で発生した津波による影響が大きいと。                                     |
| 0:29:12 | いうふうに考えてございます。   |
| 0:29:15 | 2-3-1 の 144 ページをお願いをいたします。   |
| 0:29:20 | 使える活況沿岸の津波水位の比較ということで、4 点を棚沢信頼や高瀬側深めの時刻歴はつきりを比較をいたしました。  |
| 0:29:31 | 基準波源モデル 1 から 6 ではですね、4 地点の最大水位上昇量は第一波で発生をしております。   |
| 0:29:39 | 一方、内閣府モデルに着目しますと同じ誤差は信頼では第一波で最大水位上昇量は発生しておりますけれども、タカセ側向かわなければ、計算時間、計算開始から約 2 時間後の後発の津波により最大水位上昇量が貼って達成していると。 |
| 0:29:57 | ということが確認できます。  |
| 0:29:59 | タカセ側の後発の津波による水位上昇はパルス的な短周期の津波によるものでありますので、先ほど申し上げました通り、岩手県沖に設定された滑り期に発生した津波によるものではないかというふうに考えてございます。         |
| 0:30:16 | 2-3-1 の 145 ページをお願いをいたします。   |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:30:22 | はい。これらの特徴をスナップショットで確認をしてございます。研鑽開始から70分から120分のスナップショットを準備してございます。  |
| 0:30:34 | 先ほどですね、  |
| 0:30:37 | 計算開始2時間後を見たいですね信頼は向かわ目の腓臓造成増幅が認められたというところがありますので、後半の三枚傾動110分から120分ぐらいのところ注目してもらいますと、信頼絡むか埋めるっていう局所的な水位上昇は、 |
| 0:30:55 | 海岸線に沿って南から北へ伝播する短周期の水位変動と下北半島を太平洋側における長周期の水位練度が重なった結果によって発生しているというふうに考えてございます。                             |
| 0:31:11 | はい。家エコー南側から短周期の津波は岩手県沖の滑り域で発生する津波によるものであろうというふうにも考えてございます。   |
| 0:31:20 | 2-3-1の146ページをお願いいたします。   |
| 0:31:24 | 今度は津軽海峡内の大粒津波伝播形態をスナップショットで比較してございます。  |
| 0:31:30 | 2000円、内閣府2020モデルの津軽海峡開口部の統合の円形の旺盛利益から相対的に長周期の波が津軽海峡内に伝播していることが確認できます。                                      |
| 0:31:43 | そのため、次が波長の長い津浪挙動におきまして、内閣府2025では基準波源モデル1から6に比べまして、津軽海峡内の広域で最大水位上昇量が大きくなっているんだというふうに考えてございます。               |
| 0:32:00 | E-3-1の147ページをお願いいたします。   |
| 0:32:06 | 津軽海峡内の岩谷付近のさして意思用いはや室借り個々の時刻歴派遣を比較をいたしました。   |
| 0:32:16 | 以深持ちとしつつあり視点ではですね、基準波源モデル1から6内閣府2025年ではですね第一波の押し波により最大水位上昇量が発生していることを確認してございます。                            |
| 0:32:28 | 一方いや岩屋付近、グラフでいうと、真ん中のグラフですね、いわゆる付近には岩屋地点では後続の津波により最大水位上昇量が発生しているということが確認して確認できます。                          |
| 0:32:42 | これより特性が違うと金近隣の参戦特性が違うということからですね、岩谷付近の内閣府2020モデルによる津波による津波にはですね、ローカルな地形の影響により水位増幅が推定されたSAベースによる腓臓が推定される。    |
| 0:33:00 | に考えております。  |
| 0:33:02 | これを確認するために、2-3-1の148ページ。   |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:33:06 | でございますけれども、今や付近の津波水位のパワースペクトルについて検討してございます。  |
| 0:33:13 | 局長の二つ目のポツですけれども今や付近ではですね、太平洋側からですね制限は入社しまして、   |
| 0:33:21 | 増幅特性を検討いたしましたところ、左下のグラフのように、周期 20 分から 24 分程度の周期で水位が増幅する傾向が認められます。  |
| 0:33:32 | 津浪のスペクトルはけスペクトルによりますと津軽海峡開口部及び岩屋あの地点ではですね、等に内閣府 2020 モデルのほうが基準波源モデル 1 から 6 に比べまして、この周期 20 分から 30 分程度パワースペクトルが大きいと。 |
| 0:33:50 | ということが確認できます。  |
| 0:33:52 | パワースペクトルですね、それぞれのグラフの中に赤線と黒線がありますけれども、下線はやって共選は津軽海峡海溝部となっております。  |
| 0:34:04 | 以上より、内閣府 2020 モデルの岩屋付近への水位増幅の要因はローカルな地形の影響によるものであるというふうに考えております。   |
| 0:34:14 | 2-3-1 の 149 ページをお願いいたします。  |
| 0:34:19 | うん。  |
| 0:34:20 | 同じく津軽海峡内でありまして、もう少しいいサイトより西側のほうも等が易国間機能トップ及び大型、  |
| 0:34:29 | この時刻歴はけを比較をいたしました。   |
| 0:34:32 | 基準波源モデルさんにつきましては、いずれもですね、税務地点も大体水位上昇量がそんなに大きくないので、検討対象からはこれを見といたしました。  |
| 0:34:44 | 来上げまでの 6 と内閣府モデルを比較をいたしますと、  |
| 0:34:49 | もどちらもですね。  |
| 0:34:51 | 第一波で最大水位上昇量が発生して、  |
| 0:34:54 | ということでありますけれども、基準波源モデル 6 の場合ですね、大方、一番下のグラフ、一番下のグラフですね。   |
| 0:35:02 | 8 メーター程度から東岸上部のグラフですけれども、5 メーター程度の間での水位上昇量の減衰傾向を比較的大きい一方内閣府 2020 モデルの場合は、  |
| 0:35:14 | 同地点の差っていうのが 7 メーターから 6 メーターということで、比較的大洲以上少量の減衰傾向が小さくなっているということが確認できました。  |
| 0:35:24 | 2-3-1-150 ページをお願いいたします。  |
| 0:35:28 | 先ほどと同じく、東岸から易国間隣臓区の要員を検討するために、   |
| 0:35:36 | 制限はによる検討を実施をいたしましたところ、左下の図にありますように、周期 28 分程度ですね、水が増幅する傾向にあるということが認められました。  |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:35:49 | 一方ですね、津波はKのスペクトル解析によりますと、   |
| 0:35:55 | 津軽海峡開口部及び比を当該地点ではともに内閣府 2020 モデルのほうが基準津波設計基準波源モデル 1 から 6 に比べて周期 20 分から 30 分程度パワースペクトルが大きいと。 |
| 0:36:10 | ということが確認できましたので、  |
| 0:36:12 | 内閣府 2020 モデルの絵を東岸から易国間付近での水の増はローカルな地形の影響によるものというふうに考えております。                                 |
| 0:36:22 | 2-3V-151 ページをお願いいたします。  |
| 0:36:28 | と津軽海峡内AEDですね、大間崎以西における最大水位上昇量の比較をいたしました。  |
| 0:36:37 | 上下の 1 から 6 に比べまして、内閣府モデルは大間崎製の〇海域全体の最大水位上昇量が大きいということが確認できます。                                |
| 0:36:47 | 2-3-1-152 ページをお願いいたします。   |
| 0:36:51 | そのアップ所飛び同じような回帰を確認をいたしました。  |
| 0:36:56 | 基準波源モデル 1 から 6 に比べまして、内閣府モデルは波長が長く続いた造影水位変動量が大きな津波が津軽海峡内に伝播しておりますので、                        |
| 0:37:07 | 大間崎を回り込んが重さ規制の水の減衰傾向が小さくて津軽海峡内の広域で最大水位変動量が大きくなるというふうに考えてございます。                              |
| 0:37:18 | 2-3-1-153 ページをお願いいたします。   |
| 0:37:23 | さらに西側に着目いたしまして、津軽海峡中央部及び基準波源、基準津波策定時の時刻歴はつきりを比較をいたしました。                                     |
| 0:37:33 | 津軽海峡中央部におきましては、基準波源モデル 1 から 6 に比べまして、内閣府 2020 モデルの図振幅が大きいということが確認できます。                      |
| 0:37:43 | またいずれのモデルも、津軽海峡中央では長周期成分が顕著でありますけれども、基準津波策定値に近づく行動潜水変形の影響によりまして、                            |
| 0:37:54 | 津波水位が増幅されているということが確認でき、   |
| 0:37:58 | 2-3-1-154 ページをお願いいたします。   |
| 0:38:02 | イズに波源モデル 1 から 6 と内閣府 2020 モデルとの比較分析のまとめであります。   |
| 0:38:10 | 結果は以下の通りでありましてちょっと重複するところありますけれども、一つ目の上で基準波源モデル 1 から 6 の想定津波群はイベント堆積物の分布標高を概ね上回る            |
| 0:38:21 | 1 から 6 につきましては、最大滑り域に正対する青森県北部太平洋沿岸ではイベント堆積物が分布する沿岸に正対するか、ガスで水位が高くなって、また、                   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:38:33 | 1 から 6 の総括のDFはイベント堆積物を上回るように設定されました大学モデルの計算津波水位を概ね上回ると、                          |
| 0:38:42 | ということが確認できました。   |
| 0:38:44 | また、内閣府モデルにおきまして、基準波源モデル 1 から 6 とは特徴が異なり、3 地点についても、その要因というものは二つの波の重なりであるとか、       |
| 0:38:57 | 或いはローカルな地形の影響周期に伴うローカルな地形の影響であるとかそういうところが確認できたということをもとめてございます。                   |
| 0:39:07 | 以上からSEの比較、或いは増幅傾向の検討等からですね、3 から 6 を含む基準波源モデル 1 から 6 の設定は妥当であるというふうに判断をさせていただきます。 |
| 0:39:20 | 2-3-1 の 185 ページをお願いいたします。  |
| 0:39:29 | はい。  |
| 0:39:30 | 前段で申し上げました十勝沖根室沖からご担当沖及び択捉島沖の広域の津波特性を考慮した特性化モデル、                                 |
| 0:39:39 | これをですね、営業権提供確認を波源として位置付けまして、   |
| 0:39:44 | 岩手県沖北部から十勝根室沖の波源であります基準波源モデル位置と比較をし、   |
| 0:39:51 | その影響について確認をするということを実施いたしました。皆さんの 186 ページをお願いいたします。                               |
| 0:39:59 | 概略パラメータスタディの検討ケースについて記載をしております。  |
| 0:40:03 | これを図化したものが 2-3-1 の 187 ページになります。   |
| 0:40:09 | ここに示します。計 18 / たんで、オスプレイ利益調整利益を  |
| 0:40:15 | 移動させる概略パラメータスタディを実施いたしました。   |
| 0:40:19 | 2-3-1 の 188 ページがその結果でありまして、  |
| 0:40:24 | E-3-1 の 189 ページ。   |
| 0:40:27 | 2E基準波源モデル位置との比較を示してございます。  |
| 0:40:31 | 左の表から十勝沖根室沖から択捉島沖の特性化モデルの評価結果、   |
| 0:40:38 | 右の表が基準波源モデル位置の評価結果ということになります。  |
| 0:40:44 | こっからですね、基準波源モデル位置のほうが上昇側下降側ともに敷地に与える影響が大きいということが確認できますので、                        |
| 0:40:54 | 十勝沖から根室沖択捉島沖までの特性化モデルについては、  |
| 0:41:00 | 影響確認用の波源として問題ないだろうということを確認したということでございます。   |
| 0:41:07 | 2-3-1-190 ページにまとめ、今申し上げましたようなことを記載をしております。                                       |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



|         |  |
|---------|--|
| 0:41:14 | 2-3-1-192 ページをお願いいたします。  |
| 0:41:19 | 補足の 6 ということで、想定津波群の策定も作成方法について記載をしております。   |
| 0:41:26 | まず、プレート間の津波の検討の本編の中でですね、1856 年の津波について、   |
| 0:41:34 | 不確かさを含めたケースの想定津波群ということを示してございますので、   |
| 0:41:41 | そこで検討いたしましたケースということで検討モデルの四角の中に囲っておりますケースを網羅的に検討対象としたということがわかるように記載してございますが、この辺の記載は後奥さんに倣って作成させていただいております。 |
| 0:41:57 | 皆さんもう一度 193 ページをお願いいたします。  |
| 0:42:02 | 同じく基準波源モデル 1 から 6 概略パラメータスタディまでの   |
| 0:42:07 | 結果、を踏まえた想定津波群の   |
| 0:42:11 | 検討でありまして、この検討の中にはどういう系統かは含まれているかということにつきましては、左下の想定津波群作成係数に記載のケースを  |
| 0:42:24 | 検討対象としているということで記載してございます。  |
| 0:42:27 | 2-3-1-194 ページをお願いいたします。  |
| 0:42:30 | これは三方として記載しておりますけれども、先ほど基準波源モデル 1 から 6 の概略パラメータスタディまでの想定津波群を受を示しをいたしました。                                   |
| 0:42:42 | 詳細パラメータスタディまですべてやったケースについての  |
| 0:42:47 | 基準で想定津波群についてもですね、参考でお示しをいたします。   |
| 0:42:53 | で検討ケースでございますが、下の表のようにですね、詳細パラメータスタディをして破壊開始点と破壊伝播とか、こういうものも含めて作成をしたがこのような形になりますということであります。                 |
| 0:43:08 | 2-3-1-195 ページをお願いいたします。  |
| 0:43:13 | 何か確認する二重モデルを対象とした想定津波群であります、この下限はですね、破壊開始点AとBという二つの 2 ケースがありますので、この 2 ケースを検討対象としたということで記載をしております。          |
| 0:43:32 | 2-3 をしておりました 2-5-3 お願いいたします。   |
| 0:43:45 | はい。海域活断層に想定されます地震に伴う津波についてであります。   |
| 0:43:51 | ページ 2-5-3 につきましては、隆起再現断層設定ということで、前回の審査会合でお示しをしたものであります。  |
| 0:44:01 | 右下の個目Aのところでありますけれども、   |
| 0:44:08 | ここの文面を修正してございます。敷地周辺及び敷地近傍の地質地質構造に関する審査内容を反映して作成をしてございまして、   |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:44:17 | 今後内陸地殻内地震の地震動評価に関わる審議において上機能検討条件が変更になった場合は、本資料に反映すると。                                   |
| 0:44:26 | ということで記載を修正してございます。   |
| 0:44:29 | 2-5-4 ページをお願いいたします。   |
| 0:44:33 | ここも同じくであります。  |
| 0:44:37 | このページの右下ですね、※の 5 ということで、先ほど前のページで記載いたしました内容と同じ内容を記載してございます。                             |
| 0:44:49 | 2-6-25 ページをお願いいたします。  |
| 0:44:57 | はい。   |
| 0:44:58 | 行政機関は想定する波源に変えたげによる津波ということでS-5-55 に対する回答でありまして、   |
| 0:45:06 | 内閣府モデルの反映法制   |
| 0:45:10 | について記載をいたしました。  |
| 0:45:12 | 前回ですね、もう少し細かな情報も含めて、少し長めの文章を記載しておりましたけれども、  |
| 0:45:20 | すっきりにまとめ直したということでございます。   |
| 0:45:26 | 読み上げますと、内閣府 2020 の最大クラスの津波断層モデルは、津波堆積物について堆積年代の区別することなく再現する逆断層より示さ逆解析により想定設定されており、      |
| 0:45:41 | 破壊領域の面積の割に大きな相違は設定されておりますこの滑り量はスケールリング即を用いて設定された。                                       |
| 0:45:49 | 最大滑りを大幅に上回る設定であると。  |
| 0:45:52 | これも前段で資料として、すでに御説明した内容であります。  |
| 0:45:58 | このため、内閣府 2020 の最大クラスの津波断層モデルの滑り量等のモデルの手法は、  |
| 0:46:05 | 2-3-1 の   |
| 0:46:07 | 三陸沖から根室沖に想定されます地震に伴う津波の波源モデルの和には採用しないものの、   |
| 0:46:14 | 評価する抽出におきます津波水位の下降量が基準津波上げせ基準波源モデル 1 から 6 等の地震による津波水位の下降量を上回ることを踏まえまして、安全側の評価を実施する観点から、 |
| 0:46:31 | 敷地への影響が大きい波源モデルとして選定することとするということで位置付けを整理し、  |
| 0:46:38 | 。   |
| 0:46:40 | 整理し直しております。   |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:46:42 | 右の欄の 2 ページをお願いいたします。  |
| 0:46:49 | はい、地震による津波のまとめでありましてこれは前回会合からの再掲Aでありますので変更はございません。このように整理ができますと。                                      |
| 0:46:58 | いうことであります。  |
| 0:46:59 | 2 度など 3 ページをお願いをいたします。  |
| 0:47:04 | で、コメントNo.S-5-54 に対するコメントをこちらに準備してございます。   |
| 0:47:10 | 影響検討方針ということで今お示しました通り、  |
| 0:47:15 | 上昇側、地震による津波の検討結果の上昇が日本回答MIに想定される地震に伴う津波の影響、これが最も大きいということでもあります。                                       |
| 0:47:26 | 一方加古川内閣 2020 年の波源モデルによる津波の影響が最も大きく、   |
| 0:47:33 | いうことでもありますので、   |
| 0:47:34 | この点について、  |
| 0:47:37 | 分析、県比較の分析をするということを実施しました。   |
| 0:47:42 | 比較の対象としましては、敷地前面におけます三陸沖から根室沖のプレート間地震に伴う津波は来客モデルによる津波の影響と、これを比較すると。                                   |
| 0:47:52 | もう 1 個、敷地前面海域及び敷地におけます日本海等MIに想定される地震に伴う津波と内閣府 2025 \$ のつなげてこれを比較するというをやりにまして分析を進めました。                 |
| 0:48:05 | 2-7-4 ページをお願いいたします。   |
| 0:48:08 | これは先ほど説明した内容と少しかぶりますけれども、疲れ海峡内の津波伝播形態、これを最大水位上昇量分布の比較をいたしました。   |
| 0:48:19 | 切り上げまで 1 から 6 に比べまして、内閣府 2020 モデルは波長が長くて、水位変動量が大きくなりが違う回答に伝播しておりますので、                                 |
| 0:48:30 | 大間崎を回り込んだ大間崎以西での水の減衰傾向が小さくて、られ海峡内の広域の広範囲で水位が高い傾向が見受けられる。  |
| 0:48:42 | いうことでもあります。   |
| 0:48:43 | 2-7-5 ページをお願いいたします。大間崎制度 3 地点ということで、津軽海峡中央と基準津波策定値を先ほどお示しましたけれどもそこに加えまして、取水口スクリーン室前面の時刻歴はけを比較をいたしました。 |
| 0:49:01 | 津軽海峡中央部ええと比べると、一番上のグラフですけれどもにおきましては、長周期成分が顕著でありまして、基準波源モデル 1 から 6。                                    |
| 0:49:12 | に比べて、   |
| 0:49:13 | 内閣府 2020 年までののが振幅が大きいということが確認してございます。   |
| 0:49:19 | いずれの弁につきましても、津軽海峡中央部から基準津波策定位置、さらには、取水口スクリーン室前面という域に近づくほど、  |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:49:29 | 会期いい海岸地形や港湾構造物の影響によりまして、短周期成分が増幅されるという傾向が確認できます。  |
| 0:49:38 | 2-7 ページをお願いいたします。   |
| 0:49:43 | はい。今度は汲上モデル 1 から 6 と内閣府モデルの敷地前面の相違について比較をしたものでございます。  |
| 0:49:54 | 敷地前面の沖合ではですね、大学 2020 モデルが基準波源モデル 1 から 6 に比べて影響が大きいということを確認します。また、敷地の津波評価に影響がある専用港湾内及びその南部におきましても、大学 2020 モデルが基準波源モデル 1 から 6 に比べて、 |
| 0:50:14 | 上昇側下降側とも溢水の量が多いということが確認できます。  |
| 0:50:19 | 2-7-7 ページをお願いいたします。   |
| 0:50:25 | 今度は日本海等縁部の津波と内閣府モデルの津波の挙動を比較をしたものであります。   |
| 0:50:32 | 日本海いい等縁部に想定されます実施に伴う津波につきましては、内閣府モデルによる津波に比べまして、津軽海峡内全体   |
| 0:50:42 | 資料 1 と記載しておりますけれども、   |
| 0:50:45 | と波源モデル右側ですね、に記載の図が資料決めますついで領域の最大水位上昇量は小さいと。   |
| 0:50:54 | ということが確認できます。   |
| 0:50:56 | また、日本海等へ無想定されます地震による津波は、  |
| 0:51:00 | 内閣府 2020 モデルによる津波と比べまして、最大水位上昇量は専用港湾内の限られた範囲に大きくなるということが確認できます。   |
| 0:51:11 | 一方づい領域時ロイター下段の 4 枚ありますけれども、   |
| 0:51:16 | 内閣府 2020 モデルが日本海等及び想定される地震による津波に比べて水位下降量が大きいということもこれから核になります。   |
| 0:51:27 | 祈る 8 ページをお願いをいたします。   |
| 0:51:30 | これ、   |
| 0:51:32 | 津軽海峡中央部と基準津波策定地質的コースプリンスの 3 地点におきまして時刻歴は径を比較をしてございます。   |
| 0:51:40 | 日本海等MIに想定されます実施に伴う津波につきましては、比較的短周期にありまして、内閣府 2020 モデルによる、   |
| 0:51:50 | そのたびに認められますような長い周期の水位変動は認める認められません。   |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:51:55 | 日本回答M想定される地震による津波は内閣府 2020 モデルによる津波を比べまして、それから回答中央部から基準津波策定位置、取水口スクリーン室前面に津波の進行する過程で水位増幅水位変動量の増加額が大きいと。                            |
| 0:52:13 | ということも確認できます。  |
| 0:52:15 | 一方内閣府モデルにつきましては、取水口スクリーン室前面において、   |
| 0:52:19 | 営推の波高量が  |
| 0:52:21 | 大きめに出ているということも確認ができました。  |
| 0:52:25 | 2-7-9 ページをお願いをいたします。   |
| 0:52:28 | これらを踏まえまして、上昇側、水上昇側の分析としてまとめております。   |
| 0:52:37 | スペクトル解析により比較をさせていただきます。  |
| 0:52:40 | 津軽海峡海溝部において、日本海等Mで想定される地震に伴う津波は、   |
| 0:52:46 | 内閣府 2020 モデルによる津波と異なりまして、周期 20 分以上のパワースペクトルは小さいと、一方、取水口スクリーン室前面で顕著な水位増幅特性が認められる 7 分から 10 分の周期、これについては補足説明資料で以前から質問させていただいている周期ですが、 |
| 0:53:05 | このパワースペクトルが大きいと。   |
| 0:53:07 | ということが確認できます。  |
| 0:53:09 | そのため、取水口スクリーン室前面では、日本海等Mに想定される地震に伴う津波は内閣府モデルによる津波に比べまして、ただ福浦 10 分の周期の津波が増幅して、  |
| 0:53:21 | 敷地前面の最大水位上昇量が大きくなったものというふうに推定してございます。  |
| 0:53:28 | 2-70 ページをお願いをいたします。  |
| 0:53:32 | もう今度はですねそういう下降量の分析のまとめであります。   |
| 0:53:36 | グラフを二つ右左で準備してございますけれども、左側が日本海等Mに想定される津波、   |
| 0:53:45 | 右側が内閣府の津波、   |
| 0:53:48 | ということであります。  |
| 0:53:49 | 日本回答M想定されず津波と地震に伴う津波では内閣府 2020 モデルによる津波と異なりまして、敷地周辺及び専用港湾における水位変動の増額が顕著です。   |
| 0:54:03 | で取水口スクリーン相撲津波の短周期成分のみの確保は  |
| 0:54:10 | 内閣府 2002 モデルによる津波の約 3 メーターよりも大きく 4 メーター程度というふうに  |
| 0:54:17 | なことが確認   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:54:19 | しかし、内閣府 2020 モデルにおいて、津波につきましては、津軽海峡全体の振幅が大きい要因となる長周期の津波の水位下降量。   |
| 0:54:29 | もともと持っているエネルギーですね、変動と 2 メーターと。   |
| 0:54:35 | 敷地前面の監修昨日津波。   |
| 0:54:39 | 約 3 メーター、それが重なることで、最大水位上昇量が日本海、最大水位下降量が 2 本回答Mの地震伴う津波よりも大きくなった。  |
| 0:54:50 | いうふうに考えられるということでまとめてございます。   |
| 0:54:53 | 2-7-11 ページをお願いをいたします。  |
| 0:54:59 | はい、今申し上げました  |
| 0:55:02 | 上昇側と下降側ですね、縁部が上昇側で大きくなる。要因、  |
| 0:55:09 | 内閣が確保が大きな要因というところをまとめたものでございます。  |
| 0:55:15 | はい。前回の審査会合でいただきましたコメントに対する回答は以上になります。  |
| 0:55:24 | はい。ご説明ありがとうございました。こちら側から確認したい事項等あればお願いします。   |
| 0:55:34 | もしも規制庁ナカムラですけども、全般的にはですねコメント回答するい要因とかですねそういうところを説明していただいてわかりやすくなったとは全般的には思ってます。ただ、   |
| 0:55:50 | すべて今の説明だけで全部ちょっと私も追っかけられなかったところもあるんで、またちょっと次回ヒアリングのときとか 200 再度確認するかもしれないですけども、ちょっと説明されたところで少しわかりづらかったところ、ちょっと何点か聴きたいと思いますんで。 |
| 0:56:09 | 頭のほうからですけども、ちょっとページ数で言うと 2-3-1-35。   |
| 0:56:25 | で、これ先ほどですね   |
| 0:56:30 | 下に図が四つあって、赤丸のところは、例えば一番左だったら 2.5 メーター程度 2. マイナス 2.7 メーター程度とかって言われてたんですけど、ここで比較しているっていうのは何かこう、ちょっと説明されたと思うんですけども。             |
| 0:56:47 | ちょっともう一度ここを何で選んでるかっていうのだけ教えてもらえますか。  |
| 0:56:56 | はい。電源開発カンダでございます。ちょっと説明が不足したかもしれません。   |
| 0:57:03 | えっとですね、MESTARにですね、米印で頭痛の数字というところでは黒字と赤字というふうに記載しております。   |
| 0:57:12 | で、赤字の部分なんですけれども、   |
| 0:57:16 | 岩手県沖北部から十勝沖根室沖の広域の津波特性を考慮した特性化モデルにおける港湾外も含めました領域の最大水位上昇量発生付近   |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:57:27 | が大体この辺りであるということを確認しております。さらにその他のケースにつきましても、この辺りでだいたい水位の変動量が大きくなるということが確認しておりますので、この領域全体を見たときに、その変動量というのが一番大きく出ているところはどこかと。  |
| 0:57:47 | いうところの観点から、この分を比較対象として選定しております。   |
| 0:57:53 | さらにまた文字化はしておりませんが、津浪のエネルギーという意味で見ましてもですね、左の2枚と右の2枚、これの水位のですね、上昇傾向を広がりというところで観点で見ましても、                                       |
| 0:58:10 | 右側のほうはですね、エネルギーのほうに津波が持っているエネルギーが大きいということが確認できますので、そういうのも含めては現金を絞っていったということは背景としてございます。                                     |
| 0:58:22 | 以上です。   |
| 0:58:24 | はい。そしたら、  |
| 0:58:27 | ちょっとまあいいかどうかは別としてですね、あくまで来例えばですけどその図の中で示されている範囲でいうと、評価点ではないけども、し、津波の大きさ全体的な大きさをいうんですかね、そういうところ。                             |
| 0:58:44 | 比較するために、一つの例としておつき最大値になってるようなところを、  |
| 0:58:51 | 評価したということよろしいということですね。  |
| 0:58:58 | はい、電源開発カンダでございます。ここに今ナカムラさんがおっしゃったような考えに基づいております。ここを選ぶという観点で検討のですね、ナガイには、コンターですね、ミツイになっているところというところはそういうところも含めてこの地点を選んでいると。 |
| 0:59:16 | ような経緯がございます。以上です。   |
| 0:59:20 | はい、わかりました。ちょっと続けてですけども、金利なったところですね、2-3-1-137 ページの辺りですかね。  |
| 0:59:33 | 前回に比べて説明とか大分向上したと思うんですけども、これはちょっと希望的なところがあるんですけど。   |
| 0:59:44 | 例えば   |
| 0:59:46 | 上の四角の中でですね、日一番上のレ点のところですね。  |
| 0:59:54 | で、基準波源モデル1から6の想定津波群、津浪具合イベント堆積物の分布標高を概ね上回るとかっていう書き方、その下のほうも何か概ねを上回るとかって書かれてるんですけど。  |
| 1:00:10 | ちょっとこれ、こういう書き方をするとわかってることはわかるんですけど、ぼやっとしてるんで、もう少し限定的に、  |
| 1:00:19 | 書けないですかね、例えばイベント堆積物の分布標高っていうのはどこどこ。   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:00:27 | これ多分あれですよ。そういう書いてるっていうのは、他のサーバーのもちょっと左側の   |
| 1:00:34 | ところが超えてる津波堆積物があるから概ね上回るっていうような感じで書いてるんでしょうけども、もう少しこう、  |
| 1:00:43 | これあれですよ。多分猿猿ヶ森のところですかね。  |
| 1:00:48 | そういうところ以外は一つの言い方の例ですけどね、もうちょっと具体的な言い方っていうのがその文章の中とかでも何ヶ所かあるんで、県、   |
| 1:01:02 | 的確に明確に言ってんですかね、書けないかなということなんですけど、いかがですか。   |
| 1:01:13 | はい。電源開発カンダでございます。  |
| 1:01:15 | あのですねまずつめの 0.2 を概ね上回るという表現を使わせていただいたのは、想定津波群ですけども、各基準波源モデル 1 から 6 の想定津波群それぞれ記載しておりますので、                                  |
| 1:01:30 | そう。  |
| 1:01:33 | 例えば、基準波源モデル位置の想定津波群ですとはかなり影響が小さい。  |
| 1:01:39 | 一方切り上げまで 6 ですと影響が大きくて、6 だけ見るとすべて上回っているの、そういうふうに書いても構わないんですが、   |
| 1:01:48 | 想定津波群はというふうに表記して、ここに 1 から 6 の評定さび全部書いてますので上回っているものもあれば上回ってないものもあるので、概ねという表現を記載をしたということではありますが、                           |
| 1:02:04 | 今中野さんおっしゃったような観点でちょっと限定的に、   |
| 1:02:10 | 書くというところについては検討してですね、  |
| 1:02:15 | 続き調整   |
| 1:02:17 | 検討したいと思います。  |
| 1:02:20 | ナカムラですけども、   |
| 1:02:23 | やっぱり今説明を受けて、なるほどと思ったんですけど、やっぱりこの文章と、今カンダさんがあった説明っていうのは私は認識がずれてたわけですよ。だからやっぱりこの文書としてちょっと明確じゃない書き方になっているからそういうとこなってると思うんで。 |
| 1:02:40 | 私も誤解してみたいんですけど、そこはちょっと書き方をちょっと注意してもらったほうがいいかなと思ってます。   |
| 1:02:49 | それ、その点についてはよろしくお願いします。   |
| 1:02:53 | あと、すいません、ちょっとページ数がわからなくなりましたんですけども、  |
| 1:02:59 | 基準波源モデル 1 から 6 があってそのうち 3 登録を  |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



|         |   |
|---------|---|
| 1:03:05 | その次のページですかね、3と6を代表としてっていう話があったと思うんですけど、ちょっとすみませんそこを私、   |
| 1:03:14 | 3と6を代表とするっていう理由っていうのが少しわかりづらかったんですけど。   |
| 1:03:19 | これを139、140のところですかね。ちょっと説明再度お願いしたいんですけど。   |
| 1:03:28 | よろしくお願いします。   |
| 1:03:30 | はい。はい、電源開発カンダでございます。  |
| 1:03:34 | 142-3-1の140ページの左下を個目についてのドラゴンご質問かというふうに考えておりますので、ここに記載しております。文字の通りなんですけど、                                       |
| 1:03:50 | 2-3の  |
| 1:03:53 | 1-6ページを   |
| 1:03:56 | 見ていただきますと、  |
| 1:04:02 | いつも使ういつも示しておりますフローになりますが、アマノですね、これまで先日審議いただきました通り、大間の基準津波というのは大きく分けて二つ。   |
| 1:04:16 | の考え方があるということでありまして、まず一つが、このオレンジでですねバックオレンジにしているのが、テクトニクス背景と地震学的見地に基づくものでこの考え方をバックが黄色の大間の立地特性を考慮したモデル、           |
| 1:04:34 | この2種類ですね。   |
| 1:04:37 | の考え方があるというのがまず一つあります。   |
| 1:04:42 | それと、  |
| 1:04:46 | 2-3-1-135ページをお願いをします。   |
| 1:04:52 | 。   |
| 1:04:55 | これがですね、プレート間地震に伴う津波のまとめになりますけれども、   |
| 1:05:01 | 敷地における最大水位上昇量というのが基準波源モデル6でありましてこれっていうのが、大間の立地特性を考慮した特性化モデル、  |
| 1:05:09 | 下降側のチャンピオンが基準波源モデルさんでありまして、テクトニクス背景地震学的見地に基づくものであると。  |
| 1:05:18 | こういうことがありますので、140ページと132a2の3のうち139ページ戻ってもらいまして、   |
| 1:05:28 | 比較対象としてはですね、1から6すべてと内閣というふうにしてこのように並べたいんですけども、ちょっとスペースの関係とかもありますので、並べるものは並べますが、スペースの関係があるものについてはどれかを代表として選びたいと。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:05:44 | いうふうに考えたということでもありますので、その考え方として、波の特性を議論しないといけませんので、考え方が異なる2種類、これは入れないといけないということで、そのうちどれを選ぶかということなんですけれども、たまたまですけれども、 |
| 1:06:01 | 最大水位上昇、最大水位上昇の最大となるケースとうい災害物件水位下降側の最大となるケースが違う特性を持っている二つがあると。   |
| 1:06:12 | ということから、3と6を選んだということでもあります。   |
| 1:06:17 | 今の説明でご理解いただけますでしょうか。わかりました。要するに1から4の中から3を選んで、56の中から6を選んだということですね、理解できたと思います。  |
| 1:06:32 | はい。その通りであります。プラス水の上昇下降の影響も加味したということでもあります。  |
| 1:06:40 | はい。あとすみません、もう一度私からとりあえずもう1点ですけども、   |
| 1:06:46 | 2-3-1-192とかで想定津波群の作成方法っていうのでよう19293、94、95でついでるんですけど、これの津波君の作成方法   |
| 1:07:01 | 方法みたいなものっていうのは、以前は、   |
| 1:07:04 | 補足説明のほうについてたと思うんですけど。   |
| 1:07:08 | 具体的にどうやってつくってるっていうそれはそれはまた残ってるんですよ。   |
| 1:07:14 | ちょっとまだ私も補足説明までちょっと確認できてなかったから今聞いてしまうんですけど。  |
| 1:07:21 | 電源開発カンダでございます。想定津波群の作成方法については、このgとも含めてこれまで、   |
| 1:07:31 | テンポも欲しいとかほどこか補足説明資料も含めて、含めておりませんでした。  |
| 1:07:39 | なので、今回ですね、概略パラメータと想定津波群の策定方法として当資料を追加することというコメントいただきましたので、  |
| 1:07:49 | 本資料準備をいたしました。   |
| 1:07:52 | が、こういうものではイメージ  |
| 1:07:56 | 異なっていたでしょうか。  |
| 1:08:00 | とですね、指摘事項で言うと、  |
| 1:08:08 | 本当  |
| 1:08:14 | 想定津波群をどのように作成しているのか示すことってなってるんですよ。  |
| 1:08:20 | これ、ちなみに、  |
| 1:08:22 | 東北さんですかね、東通にも同じような感じであったのを参考につくられたんですかね。  |
| 1:08:32 | ちょっと今私も東通のほうの資料持ってきてないんですけども。   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:08:37 | はい、電源開発カンダでございます。東野さんのですね、資料を確認させていただきまして、想定津波群の作成に関わるシートというところで、こういうような検討資料を採用されておりますので、             |
| 1:08:54 | それに倣って、今回準備をしております。   |
| 1:08:57 | ハロー、多分、東北さんのやつは、  |
| 1:09:01 | 本編の方にもこういう資料があつて、確か補足説明か何かに、もう少し共通的なところで、   |
| 1:09:12 | 想定津波群をどうやって、  |
| 1:09:15 | 作ってるっていうのを示してる資料があつたと思うんで。  |
| 1:09:19 | ちょっとそれをスタッフ運行にしてもらったほうがいいかなと思うんですけども、今ちょっとこの資料でいうと少し足りないのかなと私は思ったんですけど。                               |
| 1:09:30 | ちょっとそこは東通の今ちょっと資料とかないんであれですけど、ちょっと確認してもらって、必要に応じてですね、ちょっと追記追加っていうんですかね、してもらえますか。                      |
| 1:09:47 | 電源開発カンダでございます。  |
| 1:09:50 | すみませんうんとはこちらの各議員んが落ちたかもしれませんので、再度確認をいたしまして、その形で対応させていただきたいと思います。はい、とりあえず私から以上です。                      |
| 1:10:07 | 規制庁サトウですけども、ちょっと今のちょっと補足しますとね。  |
| 1:10:11 | 例えば 2-3-1-195 ページをお願いしたいんですが。   |
| 1:10:17 | 審査会合で言ったのは、これを具体的に言ってるんですけども、これ結局二つのこれは分の包絡班、   |
| 1:10:29 | みたいなものを作って書いているのでこれ今どこぐらいこうありますけどね。これはちょっと誤解を招くので多分これ二つ二つぐらいで書いてるんだと思うんですけども、まずそういう理解でいいですかって言うのが一つね。 |
| 1:10:44 | それからもう一つは多分東北は多分パラメータとところ具体的にそのこの二つのんですね。波源のその領域のパラメータみたいなのを二つ並べて書いているぐらいで、                           |
| 1:11:01 | 基本的にはあまり変わりはないか売り場言わないと思っているんですけども。   |
| 1:11:06 | ちょっとその二つのところを確認したいんですが、   |
| 1:11:12 | 電源開発カンダでございます。  |
| 1:11:14 | 2-3-1 の 109 と少し紛らわしい記載かもしれません。内閣府 2020 モデルと言いつつですね、基準波源まで 1 から 6 号想定津波群も載っておりますので、                    |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:11:28 | ちょっとそういうのは要らなかったのかもしれませんが、陳情おっつてですね、193、94 があって 195 なので、1 から 6 も含めていたという架空記載ですので、 |
| 1:11:44 | 今おっしゃったのはこの我々ここで示した内閣府 2020 の想定津波群なので、黒の太線なんですね、これは、                              |
| 1:11:53 | 先ほど申し上げた破壊開始して日   |
| 1:11:57 | いいですね、破壊線を異なる等が   |
| 1:12:02 | をしたケースとBとしたケースの津波を重ね合わせてトップをとってるというようなことなんですけれども、                                 |
| 1:12:11 | うん。規制庁サトウですけども、途中ですいません。前のページの方はイメージはこれでいいんだけどもともと土木学会の漫画から取ってきてるのは承知してるんですけども。   |
| 1:12:22 | 100、195 ページはねこれAとBのこれ二つにはしかないわけよ。ですんで、山二つしかないわけで                                  |
| 1:12:31 | 右上の模式図はこれ今六本木 123C孔を本来書いてるけどこれ日本ぐらいで実は書いてるんだだけの話なんでしょうっていうその確認なんですけど。             |
| 1:12:45 | はい、神田です。ご指摘の通りであります。  |
| 1:12:49 | なので誤解を生まないためにはこのポンチ絵を 2 本にすると、そういう要素がその通り。  |
| 1:12:55 | はい、では、このページに関してはね。うん。   |
| 1:12:59 | はい。   |
| 1:13:01 | そういう観点で時ほかのページもですね。係数。  |
| 1:13:06 | いうですね、  |
| 1:13:09 | うんまあほかはまだからいいけど、  |
| 1:13:13 | ほかはわかりますよ。  |
| 1:13:14 | 溢水が 100 比率がPMIは趣味でふやしてもいいけど、修正いたします。  |
| 1:13:20 | でね、195 ページデータから言いますけど、下のほうの   |
| 1:13:25 | 発電所付近のオオイ津波高さを水位を書いた図がありますけども、これスケールをスケールはスケールを入れてもらうことってできますか、これは右側にあるんだけど。      |
| 1:13:39 | スケールって何かもう少しわかりやすく入らんですかね。  |
| 1:13:44 | っていうのが一つね。あともう一つは、  |
| 1:13:46 | これって太線が内閣府 2020、202020 なんだけど、これ全部、  |
| 1:13:54 | ①から⑥って人持ちちゃってんですよね。   |
| 1:14:00 | 事実確認だけですけど。   |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:14:05 | 電源開発カンダでございます。ちょっと確認させたスケールとおっしゃったのは、水位のスケール。                     |
| 1:14:13 | ですから、距離に環境いかん取りですか。   |
| 1:14:16 | 一応緑は書いてるんだけど。   |
| 1:14:21 | ですね、範囲の距離感はこの図、左のですね、地形の図に示している距離感でありまして、この辺りについては、               |
| 1:14:32 | メッシュサイズで公募とリターンを示しておりますので、  |
| 1:14:37 | あまりではなく、  |
| 1:14:40 | 承認スケールを入れると。  |
| 1:14:44 | ちょっと正確ではない。   |
| 1:14:48 | それこそこれグラフにSCALEを載せてしまうと、少し  |
| 1:14:55 | Es遅れが生じるかもしれないのであえてつけてないというちょっと補足しますけど、そうするとね、今右側にSCALE入ってるんだけど。  |
| 1:15:04 | もう一つ別にこのグラフの下にスケールを別に入れてもらうことってできますか。そうすると、                       |
| 1:15:11 | わかりました。ちょっとそうですね。助かったわかるような形で、                                    |
| 1:15:18 | 入れる方向で検討したいと思います距離感がちょっとね、掴めない。                                   |
| 1:15:25 | はい。   |
| 1:15:27 | で細胞の質問ありますか、1 から 6 は内閣府にすべて                                       |
| 1:15:37 | 分けているか内閣がすべて上回って前全部の総損益ということですよ。その他、それはその通りでいいです。                 |
| 1:15:47 | そこはですね、   |
| 1:15:50 | 結論として、  |
| 1:15:52 | 地震の地震性の津波の膜厚目のほうを、  |
| 1:15:58 | もう少々お待ちください。  |
| 1:16:12 | カンダでございます。すいません、2-7-2 ページをお願いいたします。                               |
| 1:16:22 | はい。これ地震による津波の検討結果でありますけれども、                                       |
| 1:16:27 | 上から 2 段目がプレート間大地震ということで 1 から 6 の最大値を記載しております。                     |
| 1:16:35 | 一番下はですね、行政機関内閣 2020 年ですけれども、これが、                                  |
| 1:16:42 | 上昇側下降の数値ということで、プレート間等を内閣府を比較をいたしますと、                              |
| 1:16:50 | 内閣府の方が上昇側下降側とも影響が大きいという、そういう結果になることを前回の会合でもお示しをさせていただいております。以上です。 |
| 1:17:03 | はい。規制庁サトウですけども。   |
| 1:17:05 | 等はそうですね。  |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:17:10 | ところが、OK  |
| 1:17:12 | 2-3-1-137 ページ。   |
| 1:17:20 | ここにね。  |
| 1:17:26 | 楕円の点線で3ヶ所フォーカシングしてあるんだけど。  |
| 1:17:31 | これいろいろ検討してもらってそれぞれの理由を考えてもらったんだけど。   |
| 1:17:37 | この図一番また最後にもう1回出してだ円のところに矢印を引いて、  |
| 1:17:44 | こんな理由ですよっていうふうにしたほうが、この資料としては閉まるような気がするんだけど、そんな気がしませんか。                                  |
| 1:17:56 | 電源開発カンダでございます。   |
| 1:18:00 | アドバイスとして受けとめさせていただきます、   |
| 1:18:04 | 2-3-1-54 ページ。  |
| 1:18:08 | 2-3 の 154 ページですね。  |
| 1:18:11 | 154 ページに、  |
| 1:18:14 | おまとめがありますので、ここにですねちょっとスペースの関係でどうなるかわかりませんが、ここにも三つの地点ですね、の要因というところを記載しておりますので、グラフとともにですね。 |
| 1:18:30 | お示しできるような形で修正を考えたいと思います。   |
| 1:18:36 | はい。趣味市民も入りますが、よろしく検討ください。あとはちょっと一番引っかったのね  |
| 1:18:46 | 一番最初のコメント通りなんですか。2-3-1-35 ページで、  |
| 1:18:55 | さっきの説明だと思うねんとこれまで前回の審査会合までは評価評価位置評価地点での推移を比較していたんだけど今回敷地前面で見たらというそういう判断の仕方変わったわけね。       |
| 1:19:12 | そうすると、   |
| 1:19:17 | 目玉一つの場合も、そういうロジックにしないとなんか  |
| 1:19:21 | 整合とれないような気がするんだけど、そこは何か社内で議論されたんですかね。  |
| 1:19:31 | これ、今の今の資料を見る限り何か都合のいいような解釈しかしてませんねって言われる可能性もなきにしもあらずだよな気がするんだけど。                         |
| 1:19:42 | どうでしょう。  |
| 1:19:56 | 電源開発カンダでございます。   |
| 1:19:59 | 御指摘最もでありますので、  |
| 1:20:03 | 当波源の設定波源域の設計に関わって一つ目がのところですね、具体的と2-3-1-39 ページになると思いますけれども、                               |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:20:14 | ここについても同じような記載、本ですね、にするというところで検討を再検討したいと思います。  |
| 1:20:24 | 規制庁サトウですけれどもこれそうするとね表記の仕方も一つあってこういう表記の仕方もあるんだけど、ラインでね。示すっちゃうのもあり得るかなと思っていて、                                  |
| 1:20:37 | 敷地前面のところで見るともうラインライン、ライン上で見るとね、  |
| 1:20:44 | ここが一番高い必要ってだからこっちの方とったんですよっていう言い方もあるのかなと思ってんですけども、そういう表記をするならそれはそれで一つ理由があるかなというふうに思いますが、                     |
| 1:20:56 | どうでしょう。  |
| 1:20:57 | ちょっと現状ではねやっぱ片っぽこういう評価したのかたっぽはやっぱり同じような評価もしないと。   |
| 1:21:03 | ちょっとあんまり   |
| 1:21:05 | 資料構成として赤よろしくないんじゃないかなと思うんですよねロジックとして、  |
| 1:21:13 | はい、電源開発カンダでございます。ありがとうございます。ラインという意味ではですね、2-1-4 ページに、  |
| 1:21:22 | 評価水位抽出位置を  |
| 1:21:28 | はい。  |
| 1:21:32 | 2-1-4 ページ  |
| 1:21:39 | に評価損注水一応上がりましてここで比較できればいいんですけども、上昇側のとかそういう抽出位置はとの 12 年の敷地ののりじりということで、2-3-1-35 ページ等見てもらいますと、そこまで届いていないということで、 |
| 1:22:03 | ラインで示すのはちょっと苦しいのかなというふうに考えてこのようにしたということではありますが、  |
| 1:22:10 | サトウさんの 5 隻いいの意図は理解しましたので、  |
| 1:22:16 | 土地示し方についてはちょっと検討してですね、当たった形で修正したいと思います。でもこの 4-1-7 万何ぼほら可能領域に含まれてるわけだから、                                      |
| 1:22:28 | こういうふうにデジタルで絵がつくれてるってことは、データあるからさ。少し伸ばせばいいだけだと私は理解してんだけど。  |
| 1:22:36 | ちょっと任せますけどね。   |
| 1:22:38 | そうじゃないとちょっと今の今の情勢を   |
| 1:22:42 | やっぱ個々ですけれども、ここ収支確認ですけど、今確認しようと思ったらサトウさん少し伸ばせばと言われたところなんですけれども、2-1-4 ページはこれ、敷地の評価する位置としてのラインですけども、敷地前面ということで、 |
| 1:22:57 | 敷地の外まで広げて今議論してるんで、そういった  |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:23:01 | 汀線付近のラインを瓶が高いのであればそこまで延ばしてという御趣旨と理解しましたけど、そういうそのものに理解して欲しいんでしょうか。規制庁サトウですけど、そういう趣旨で書いてますので、御社今ほら資料敷地前面ってもう言い換えているわけだから、 |
| 1:23:19 | そこまで含んだものと理解すれば、そういう図示の仕方もあろうかと。  |
| 1:23:25 | いうふうに思いますが、   |
| 1:23:28 | ご検討ください。  |
| 1:23:34 | カンダでございます。はいえっと、承知いたしました。   |
| 1:23:38 | 評価する地点或いはライン運営の示し方というところについて検討してみたいと思います。   |
| 1:23:49 | とりあえず私からは以上です。  |
| 1:23:54 | 規制庁ナガイですけれども、さっきほど末サトウの話か補足ば新たな評価 1 を作ってもいいのかもしれないかなと私も思っていて、またそれは  |
| 1:24:06 | 今、患者さん説明された 2-1-14 やる評価シートが同じレベルのものではなくて、例えば線形さ選定のための参考評価位置っていうのを作るのも一案かなと思いますがいかがですか。                                  |
| 1:24:22 | はい。はい、電源開発カンダでございます。  |
| 1:24:26 | そうですね。そういう可能性も含めてですね、検討させていただきたいと思ます。   |
| 1:24:33 | はい、検討いただければと思ましてちょっとそこに関連するんですけども、資料見てて気になったので確認をさせていただきたいんですがその次の委員の 1-5A 前のページに戻ってもいいの 1-2。                           |
| 1:24:48 | A1-3-6、この三つのページで、一部修正となってるんですけども、これ何か保守的な修正があるのかどうか確認させてください。その趣旨は、これらの構造とか何か変わったんであれば非常に重要な話なので、                       |
| 1:25:05 | ええと一部修正とそのような意味かなとちょっと誤解を招くので確認をさせてください。  |
| 1:25:14 | はい、電源開発カンダでございますすいません、ちょっとページの確認ですが、2-1-5 等、  |
| 1:25:21 | すいませんあと 2 ページ。  |
| 1:25:26 | ナガイです同じような点が入っている残り 2 ページですけど、2-1-2。  |
| 1:25:32 | 2001/3/6  |
| 1:25:42 | Iですけど、これはページの右上一部修正となっているので、何を修正されているのかを確認したいという意図でございます。   |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



|         |  |
|---------|--|
| 1:25:52 | はい、電源開発カンダでございます。まずですね、1-3-6、これは主旨は変わっておりません、  |
| 1:26:04 | 港湾の防波堤等というところですね、防波堤等の影響検討というのが後段に出てきますので、ここで言う防波堤等とは何かというところを明記したということです。右したのですね、赤の四角と、 |
| 1:26:19 | その横の★これを加えたということでありまして一部修正としてございます。  |
| 1:26:31 | 範囲を示しただけであります。   |
| 1:26:33 | 人の日中載るか。   |
| 1:26:41 | 2-1-2につきましても同様であります。   |
| 1:26:45 | 最後 2-1-5 ですけども、  |
| 1:26:48 | これはですね所水路のですね、断面を示しておりますけれども、  |
| 1:26:54 | これまで基準津波の最低水位に対しましては、先生冷却水を確保できる設計とするというふうに、左下に記載しておりました今晚ですね、この                         |
| 1:27:11 | 確保する方法としまして、と取水貯留堰、  |
| 1:27:15 | これを覆うつくリース前面にですね、設置するというので、社内で決定しておりますので、この部分を追加したということになります。                            |
| 1:27:27 | 以上です。  |
| 1:27:30 | はいヶ国ですけど、ちょっと補足します。今カンダ申したように貯留堰TPマイナス 4.08 というものを設計の進捗で付け加えております。ただ、今まで御審議いただいた。        |
| 1:27:46 | 津波のシミュレーションにおいては、この部分取水のところは、延長の壁があるという示し方をしておりますので、メッシュの作成上評価上は何ら変わりはないと考えてます。今後、       |
| 1:28:02 | 基準津波学校確定した後、主水路内の高挙動計算することになるかと思えますんでけれども、その時に影響するかと思うので、設計の進捗を反映させていただいた次第でございます。以上です。  |
| 1:28:19 | はい。規制庁中です。わかりました。2-1-5 の変更、これを我々既存大事な話なので、これはちょっとしっかり説明していただきたかったなというふうに思います。            |
| 1:28:32 | で、あとはですね、今回の内閣府の検討の件ですと、1 点お聞きしたいんですけども、これを  |
| 1:28:40 | 20 分とか周期とかなして津軽海峡特任の固有周期の関係性って確認取りますか。   |
| 1:28:54 | はい電源開発カンダでございます。それで貯留堰の説明についてはすみません、飛ばしてしまって申し訳ありませんが、一つの基準津波策選定のところで                    |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
|         | 説明する予定でしたかちょっとその部分を今回なくなってしまったので、括りしております。申し訳ありませんです。                                       |
| 1:29:10 | こういう時 20 分については津軽海峡の全体の固有周期との比較という観点ではちょっとはつきり確認はしていません。以前津軽海峡の中のこういう周期等を検討した。              |
| 1:29:25 | ことは個別に検討したことはあるんですが、今回ように、比較をして評価にのっけているという状況では現状ございません。                                    |
| 1:29:39 | はい、わかりました。現状については理解しました。ですんで、やはり気になるのは今内閣を選定されているというところで選定理由                                |
| 1:29:53 | ていうのは前からいろいろと事故   |
| 1:29:58 | 介護事業としてヒアリングで確認してとしてるんですけども。  |
| 1:30:02 | やはりそこにもうちょっとね、説明が欲しいなというのが正直な今の資料での印象です。  |
| 1:30:09 | その内閣 2020 何らかの特徴的な理由があつてやっぱやはり採用制度を得ないというふうになっていただかないと、今の説明と水位が大きいかっていうのがやっぱり               |
| 1:30:21 | 引っかかるんですよ、今後も含めると、  |
| 1:30:25 | 例えばあり得るかどうかわからないですけど、内閣府 2020 よりもうより水下降量が大きなモデルがどこかの機関による発表されたそれはどう扱うんだっていったらやっぱ同じ文章はまっちゃう。 |
| 1:30:38 | わけですよ。  |
| 1:30:40 | そこに対してやっぱり明確な答えが欲しいというのが正直なところなんですけども、今何らかお答えできますか。   |
| 1:30:54 | 電源開発タカオカでございます。端的に申しますと、流されたように今後これを上回るようなものでできたらっていう場合には、やはり同じようなプロセス検討を行って、               |
| 1:31:10 | 作りそこに合わなくても、採用っていう流れにバックフィットのルールがあるんで、しなきゃいけないかなっていうふうには、                                   |
| 1:31:18 | 考えた上でございます。   |
| 1:31:21 | 審査会合のときのサトウさんから確かいただいたコメント等、  |
| 1:31:26 | 考えますと、  |
| 1:31:29 | 端的にスパッと行って欲しいって結局要は水。   |
| 1:31:34 | に依存してるんだよねっていうことがあったので、今回 22-6-25 ページに示したような回答で、  |
| 1:31:42 | 審査会合 7 月のときにいろいろと三つの分冊ぐらいでパラグラフで分けて   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:31:50 | かなりなんていうかな前置きがあったわけですけども、ちょっと審査会合のコメントを反映した形ではございますか。   |
| 1:32:00 | というところで、なかなかナガイさんの保守性をに   |
| 1:32:06 | 雨夜廻谷してもですね、今後、仮に出てきた場合に差別化を図るがなかなかちょっと難しいかなっていうふうには考えているところですけど、ちょっとそのあたりご見解をどのようにお考えてですかね。   |
| 1:32:19 | 少しナガイさん考え言っていただくと助かるんですけど。  |
| 1:32:24 | それは先ほど聞いた事実確認と関係すると思っただけであればいいと思います。  |
| 1:32:34 | 先ほど言われたことから考えようっていうことかと思しますので、少しちょっと頭整理していると思います。   |
| 1:32:46 | 規制庁サトウですけども、方向性は今説明されたように、一応の私の選果言ったことに対してはスパッと書かれてるので込まこんな感じかなと思っはいますけどね。  |
| 1:32:59 | あとは、うん、あとはちょっと会合までもいいっすけどね。   |
| 1:33:08 | 規制庁の岩田です今のところはですね例えばんとこの。   |
| 1:33:13 | 評価の概要っていうんですかね。   |
| 1:33:16 | 前半のところのローマ数字のところにあるフロー図がございますよね。  |
| 1:33:20 | 9 ページですかね目次の前の  |
| 1:33:31 | はい。このページなんですけれどもここでは行政機関が想定する波源モデルの検討っていうのは、いわゆる地震による津波全部を見た上で比較しましょうってそういうフローになってますね。一方で今回見ているのはそのプレート間地震の中で2-3の中ですっていろいろと比較日検討していただいているということになるんです。 |
| 1:33:51 | けれども、つまり確かに今回対象がプレート間地震なのかもしれませんが、こういった内閣府であるとかですね行政機関がやった結果、   |
| 1:34:01 | について、自分たちが評価したものに比べて数値として大きかったときにどう扱うのかっていうところが、今回考えるべきことだと思うんですよ。  |
| 1:34:11 | それは多分、審査側からっていうふうにもしかしたらモデルはね、正しくないかもしれないけれども、行政機関がやった結果なんだから、一つの   |
| 1:34:21 | 数値としてはね、採用するという結果になるんじゃないかなと思ってるんですけども、その認識がまず違いますかね、同じですか。   |
| 1:34:31 | 電源開発のタカオカでございます。今岩田さん言われた認識と我々も同じく考えて受けた受けとめております。  |
| 1:34:41 | はい、わかりましたそうすると  |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:34:44 | 今回はたまたまのプレート間地震がメインに出てきましたけれども他の地震とかでもですね、同じように、別途行政機関がやった結果が大きければそれは採用するというようなお考えであるということは理解しました。   |
| 1:34:57 | あと先ほどサトウの方からもありました 2-6-25 ページですかね、かなりシンプルに書いていただいたものですね。   |
| 1:35:05 | 何となくちょっと日本語だけもう 1 回見ていただくと波源モデルは採用しないんだけれども波源モデルとして選定するという若干ちょっと読みにくい日本語になっているので、この辺りはもう 1 回すいませんヒアリングで指摘することではないのかもしれませんが、よく考えていただいたほうがいいんじゃないかと思えます。 |
| 1:35:26 | はい、電源開発カンダでございます。  |
| 1:35:29 | はい。再度確認をして適切に修正したいと思います。   |
| 1:35:37 | はい、ありがとうございます。あと、今回 2-3-1-137 で左側の図を大きくしていただいてですねこの、いわゆる皆さんが基準波源モデル位置から 123756 で作ったものに比べてですね、  |
| 1:35:53 | 黒線が内閣府モデルがですね、一番でかいというところが見えることになったわけなんですけれども、   |
| 1:36:00 | つまり、今回、  |
| 1:36:03 | 評価をするまでもなくですよ、先ほどの考え方からいけばこういう絵を見ればですね、自分たちが作ったモデル以下によらずですね、この数字については採用するとそういう流れになるのではないかと思うんですが、そこはどうでしょう。  |
| 1:36:24 | はい、電源開発カンダでございます。この御指摘の通りかと思しますので、何か工夫先ほどお示ししますが、敷地におきましてこのプレート間の上昇水位と内閣の上昇水位を比較すると内閣府が大きいということはもうすでに御示しをしておりますので、                                     |
| 1:36:43 | で、全部の地震津波、地震性の津波を考えた場合には、海側の準備をは等Mというところがあって、下側何か来るというふうに事例の海域を含めて御大学というところがありましたので、   |
| 1:37:01 | そういう構成にしておりました。プレート間の比較をしてくれとかに分けていると往査内閣府の方がええとかよう上回っているという認識は、これまでも持っておりましたので、   |
| 1:37:13 | というところであります。以上です。はい、わかりました。ちょっとくどいようですけども、すみません。   |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:37:20 | ちょっと使う遅いですか。ごめんなさい。タカオカです。ちょっと付け加えさせていただきますと、やはり審査ガイドを適性化からの要求としてはきちんと科学的な検討を行うべしということがありますので、                                |
| 1:37:35 | スケーリング則に沿った科学的な、  |
| 1:37:39 | 一部工学的な部分がありますけども①から⑥の波源モデル、こちらについては、M9 クラスの知見、それから 3.11 の知見、そういったものを取り込んでできることが現状でできることは行ったと。その上で、行政庁。                        |
| 1:37:55 | ですね、津波防災の視点で人命を守るというこういうモデルが出てきたので、その水位を採用するという、そういう考えてございますので、ただ単に数字だけ見て   |
| 1:38:08 | あまり検討⑦から⑨せずに、内確保作業したというわけでは、  |
| 1:38:14 | ございませんので、ご理解いただいとると思いますけど我々の考えはそういうところでございます。すみません途中で   |
| 1:38:20 | はい。そう考え方の理解しているつもりです。ありがとうございます。あとの先ほど来議論になっている 2-3-1-35 なんですけども、ここは本来ですね例えば津波の引きが出れば取水口以外を見ることの意味があまりないんじゃないかという気がするので、      |
| 1:38:36 | なぜその地点を選んだのかというのはやはり答えとして持っておく必要があるんじゃないかと思います。あともう一つですね市側の津波についてもですね、要はこれドライサイトを守るためにどの地点でっていうのがサイトの前面である必要があるわけですね。         |
| 1:38:51 | そっから外れるところ一生懸命見るというところの意味がですね、本当にやるのかという気がしますのでたまたまこの結果を見ると前回答の説明とは違ってですね。  |
| 1:39:01 | 逆転することになったわけなんですけど、ここちょっと説明をうまくしないとですね、たまたまこのエリアで見たらこうなりましたということにしかならないので、これちょっと説明をもうちょっとうまくしていただいた方が私はいいのではないかと感じました。今の感想です。 |
| 1:39:20 | できなかったのでございます。あとコメントありがとうございました。その方向で修正したいと思います。  |
| 1:39:30 | ちょっと1点だけ。   |
| 1:39:33 | はい。   |
| 1:39:35 | すいません規制庁ナガイですけども先ほどの言った点のコメントをちょっと前回の会合のコメントもちゃんと踏まえて言っているところもあるので、1点補足します。2の6-25ページの記載で、                                     |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:39:51 | 同レベルのポツを書いて欲しいということは私はもう下げてなくて、もうちょっとその踏み込んだところで何か言えないかというところなので、このレベル間でもオオイ、                                 |
| 1:40:03 | 追加で説明が欲しいということではないのでそこはちょっと補足しておきます。  |
| 1:40:17 | 余震がすいません電源開発菅野でございます。ちょっとすみません、ページを開くスピードをいつ出なかったのが再度コメントいただけると助かるんですけども、                                     |
| 1:40:29 | 規制庁ナガイです。今二つポツ書いてますけども、ここ、これで三つ目のポツが欲しいとかということではなくて、例えば2ポツ目の日一段下がった説明とかそういうのもうちょっと捕捉できないかという趣旨だったので補足しました。    |
| 1:40:45 | よろしいですか。  |
| 1:40:56 | 規制庁サトウですけども補足しますと今日の資料はこれでね、とりあえず聞きおきます。まずは、うん。   |
| 1:41:06 | 以上です。   |
| 1:41:09 | すみません規制庁ナカムラですけども、ちょっと話変わるんですけどさっき言い忘れたんで1点だけ、2-3-1-154ページ。   |
| 1:41:21 | 今回はさっきも言いましたけど要因分析とかいろいろしてもらってるんですけども、この154ページでちょうど中ほどぐらいに岩屋付近とか大間東とかってあるんですけども、もしわかるのであれば、さっきの概ね上回るとかと同じ表現で、 |
| 1:41:40 | ローカルな地形の影響っていうのがわかってるんで、どこっていうのがわかってるんであれば、これ。  |
| 1:41:46 | もうちょっとこう具体的に書いたらどうですかということだけです。なんかしっかり書いてるようでぼやとした書き方になってるんでわかるんであればちゃんと書いたほうがいいですよということです。以上です。              |
| 1:42:09 | すいません電源開発カンダでございます。承知いたしました。ご指摘の通り、   |
| 1:42:15 | 今や金は本部では3地点考えていてどこかというところが明記してありましたけれどもここではその部分が読めないのが、   |
| 1:42:25 | どの性のこと言ってるのかということについては明記したいと思います。   |
| 1:42:32 | とサトウですけれどもこれまああとその分析の結果ってねこれどこまでその本編資料に入れるかっていうところもあって、   |
| 1:42:40 | これ全部がぱっとこれ本編資料に入れるべきものなのかというとする。ちょっとそこは工夫したほうがいいのかもしいかなもしれないですね。  |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:42:55 | いろいろすぱースペクトルかとして比較されているところはわかるんだけど、これ全部本編資料に入れなきゃいけないかっていうと多分補足説明資料でもいいのかなって気はしてますけどもその辺も含めて、構成は、                 |
| 1:43:08 | 次回以降考えていただければいいと思います。補足です。  |
| 1:43:12 | 電源開発タカオカです。   |
| 1:43:17 | 確かにこれコメントんの交渉中だと思うんですけども、   |
| 1:43:23 | 幾つかの内容を交えて、2-3-1-135したっけ。   |
| 1:43:29 | ここでコメントされてるんで、103 をしております 2-231-137 ページですか。この図に対して、幾つかのコメントがぶら下がってる形ですので、   |
| 1:43:41 | ちょっと余りにばかげてしまうとちょっとわかり  |
| 1:43:44 | 審査会合の説明とかですね資料上町こっち飛んでわかりづらくなるかなっていうのもあって、今回ワンスルーで説明できるようにしてございますので、できれば審査会をこういう形でやらせていただいて最終的にまとめ資料、             |
| 1:43:59 | 作る時にはですね、かなりほかにもこれまでのコメントで補足の 1 から  |
| 1:44:05 | 動くというのもございます日本海答弁も同じような形でありますので、ちょっとその辺りの構成考えたいなと思ってたところですけども、そういった考えでは、  |
| 1:44:17 | よろしくないっすかね、ちょっとコメントいただければご意見いただけるとですね。そそう思っておられるならそれで結構です。  |
| 1:44:24 | はい、最後の仕上がりのときに、構成は考えていただいて、   |
| 1:44:28 | でも、それで結構ですはい。   |
| 1:44:32 | はい、電源開発タカオカでそのようにさせていただきたいと思います。ありがとうございます。   |
| 1:44:47 | 規制庁ナカムラですけども、一応こちらの方からのですね、確認事項等はないようですので、  |
| 1:44:56 | どうし場所の表、  |
| 1:45:01 | 規制庁サトウですけども一応今日のヒアリングが一応ここまでにさせていただいて、次回のヒアリングで組み合わせの考え方と、基準津波、それからあと防波堤のありなしの影響等々含めてですね、その辺の御説明をお願いしたいと思っておりますが、 |
| 1:45:19 | よろしいですか資料をこのままで結構です。  |
| 1:45:23 | これ使いましょう。   |
| 1:45:25 | うん。   |
| 1:45:26 | はい、電源開発タカオカでございます。承知いたしました。冒頭岩田調査官からも言葉ありましたのでそんな形で対応させていただきたいと思います。  |
| 1:45:39 | そうしましたら、本日ヒアリング以上ということですので、   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:45:45 | 幾つか確認事項ございましたので、ホワイトボードの形の                      |
| 1:45:50 | 読み上げをさせていただきたいと思えますけどよろしいでしょうか。                 |
| 1:45:56 | はい、よろしくお願いします。                                  |
| 1:46:15 | 電源開発のオカですと画面の外殻するいたしますが、つちゆNo.1 から順番に読み上げていきます。 |
| 1:46:22 | No.123135 ページ、三陸沖から根室沖のプレート間地震の記載における           |
| 1:46:31 | 最大水位上昇量下降量の評価位置の考え方について、                        |
| 1:46:36 | No.2231-137 ページ。                                |
| 1:46:41 | 想定津波群の比較における大小関係の表現について、                        |
| 1:46:46 | No.3、   |
| 1:46:47 | ニイさん 1140 ページ                                   |
| 1:46:50 | 内閣府モデルとの比較において、基準波源モデル③⑥を対象とする根拠について、           |
| 1:46:57 | No.4、二、三 1、195 ページ、想定津波群の作成方法の記載について、           |
| 1:47:05 | ナンバー5E31-195 ページ。                               |
| 1:47:09 | 各想定津波群の表現距離の表現について、                             |
| 1:47:14 | ナンバー6231-137 ページ。                               |
| 1:47:18 | 内閣府モデルがあったモデルに比べて水位が大きくなる地点の表現について、             |
| 1:47:25 | ナンバー7E31-31 ページ。                                |
| 1:47:29 | 波源域の設定における超滑り域一つのモデルの水位上昇量下降量の                  |
| 1:47:35 | 評価抽出位置の表現について、                                  |
| 1:47:38 | No.8、   |
| 1:47:41 | 1 の   |
| 1:47:43 | 131-3-6 ページ、2-1-2 ページ。                          |
| 1:47:49 | 及び 2-1-5 ページ。                                   |
| 1:47:51 | 一部修正と表現した修正内容について、                              |
| 1:47:55 | No.9、   |
| 1:47:57 | 内閣府モデルの波源域から敷地への影響に関する分析における周期と、                |
| 1:48:04 | 津軽海峡全体の固有周期の関連について、                             |
| 1:48:08 | No.10、  |
| 1:48:09 | 26-25 ページ、内閣府モデルの                               |
| 1:48:13 | 反映方針に関する記載内容について、                               |
| 1:48:17 | No.1126-25 ページ、内閣府モデルの範囲に関する考え方について、            |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



|         |  |
|---------|--|
| 1:48:24 | No.12、231-154 ページ、ローカルな地形の影響に関する具体的な記載については以上です。   |
| 1:48:39 | 外しサトウですけど富む結構重複してるところもあるのでそこは整理いただいて、適宜、スリムアップしてください。  |
| 1:48:49 | 特にはないです。   |
| 1:48:51 | はい、ナカムラですけども、それはそちらで   |
| 1:48:57 | 修正とか作業を進める上で、適宜修正とかしていただいて結構なんで、こちらから、今回、今回のヒアリングで言った趣旨とかってというのはご理解いただいていると思うんで、そのような形で進めていただきたいと思います。   |
| 1:49:14 | 修正のほうはですね、多分会合のこととか考えると早目に進め始めるんでしょうけど、先ほどお話あったように、次回のヒアリングはもうこのままの資料で結構なので、そういう形で進めたいと思いますけども、いかがでしょうか。 |
| 1:49:35 | はい、展開後発のタカオカでございます。今のナカムラ参考趣旨承知いたしました。   |
| 1:49:43 | はい。そしたらですね、ヒアリングについては、   |
| 1:49:48 | この後でも、多分早いうちに言われる申し込まれると思うんで、それはいつも通りの形で進めてください。   |
| 1:50:00 | ヒアリングについてはこちらからは特にはないですけども、そちらから何かありますか。   |
| 1:50:10 | 電源開発タカオカです。こちらからもございません。本日はありがとうございます。はい、お疲れ様でした。それでは、ヒアリングのほうを終了いたします。                                  |
| 1:50:21 | ありがとうございました。   |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。